

海風通信

発行者：学校法人 了德寺大学
理事長 了德寺健二

〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号
TEL：047（382）2111（代表）

第31号

31号 目次

【特集】新入生を迎えて

図書館報の
閲覧ができます。
図書館HPへ
Go！



～新入学生の皆さまへ～ 『 夢は具現化する 』

理事長・学長 了德寺 健二 2-5

新入生を迎えて

健康科学部長・医学教育センター長 檀 和夫 6-7

新任のご挨拶

附属図書館長 石丸 圭荘 8-9

新入生の皆さんへ

教養部長 山田 利彦 10-11

学ぶ、夢中になる、それが「セレンディピティ」を生む

理学療法学科長 盆子原 秀三 12-13

人生は『THE FIRST TAKE 』！？

整復医療・トレーナー学科長 大澤 裕行 14-15

「初志貫徹」の精神を持つ

看護学科長 佐藤 みつ子 16-17

新着図書&NEWS 18-19

図書館と著作権/編集後記 20



～新入学生の皆さまへ～
『 夢は具現化する 』

学校法人 了徳寺大学
理事長 学長 了徳寺 健二

私は27歳の時、当時、世界最新鋭の川崎製鉄千葉製鉄所で働きながら独立し、実業家として出発するために5年間の苦学をスタートさせました。

当時、1製鉄マンでありながら現実とは大きく乖離(かいり)した夢を持っていたのです。

その夢とは・・・

1. 整形外科のチェーン展開を果たし、実業家として成功する
2. 大学を開学する
3. 競走馬を生産する牧場を持つ
4. オリンピック金メダリストを育成する

私は、苦学し始めてから「教育」の素晴らしさに目覚めていきます。先哲方が生涯かけて研究された真理や技術が、一瞬のうちに伝授される教育の素晴らしさ。

睡眠時間を3時間まで減らして、仕事・苦学・家庭の両立。

まさに命を賭した5年の歳月は、九州の最南端から徒手空拳で上京して志を立てた青年を、苦しめながらもたくましく育て上げていきました。

医療従事者として目指したものは、外科学的処置と投薬、物理的療法を中心とした西洋医学と、鍼やマッサージ、骨折や脱臼の徒手整復など手技を中心とした東洋医学、この2つの折衷(せっちゅう)(両方の良いところを取って程よく調和させること)でした。

そこで、当時の厚生省医政課長を訪ね、この思いを訴えることにしました。

すると課長は「君の考えに同意する。その医療行為は、患者の目線に立脚したものであり、国民に必ず支持され、受け入れられるだろう。君が千葉県下で展開するのなら、問題が生じた時には支援する」との望外の言葉をいただいたのでした。

この激励を受けて、勇躍(ゆうやく)、千葉県下に「整形外科内科」を標榜(ひょうぼう)してクリニックを10か所展開し、医療系専門学校の学校法人了徳寺学園開学の土台を確立したのでした。

この「整形外科内科」という標榜は、今でこそ一般化しましたが、おそらく日本で最初のことだったのかもしれない。

青年時代の私の夢

1. 整形外科のチェーン展開と実業家としての成功
2. 大学を開学する
3. 競走馬を生産する牧場を持つ
4. オリンピック金メダリストを育成する

当時、これは斬新に思われたでしょうが、ホルモンとの深い関係を指摘される骨粗鬆症(こつそしょうしょう)や、これを起点とする椎体圧迫骨折や、自己免疫疾患が病因とされる慢性関節リウマチなど、私は整形外科領域の傷病や疾病は、きわめて内科的でさえあると考えていたからに他なりません。

このようにして、展開した事業は大成功していきます。加えて、この事業の中で私には大きな発見がありました。

事業の成否は、人を育て、人を生かすことである、ということです。

川鉄柔道部に全国から馳せ参じた柔道を愛する青年たちが、自らの能力に目覚め、伸びていった要諦も、欠点を言わずにほめて育てることにあっただと思います。

さらに、後々の私の経営哲学の1つともなった「2度と同じ過ちは犯さないこと」の精神を心に刻んだのも、この時期であったと思います。

組織を成功に導く原理は、人を育てるシステムや、過ちを繰り返さないシステムづくりでもあるわけです。

また、速度も大事です。私は30代前半から経営者としてスタートしましたが、常に部下たちに言い続けていたことがあります。

「戦いの前に鎧を着けるな。鎧は走りながら着けろ」

千葉県市原市に、八幡宿整形外科があります。このクリニックは、テナント契約から内装、医療機器設置、医師・医療スタッフ・事務職員の採用から教育に至るまでを2か月で行い開業しました。

さらに、開業後2週間で経営上の黒字化を果たしました。私のスピード経営の権化(古くは神や仏が、人々を救うために仮の人間の姿になって現れることを言いますが、ここでは私たちの思想・精神などがこのような実績で具体化したことを指します)のモデルケースとなった事業所だったので。

これらは、診察・レントゲン撮影・その読影、投薬・処置・会計に至るまでのすべてが3重にチェックされ、ミスをしないうシステムが確立されていました。また、患者さまに巻いた包帯1本でも誰が処置したのかが後でわかる品質保証体制も確立されていました。



ほかにも、ミス防止のために、ほとんどの作業の標準化がなされていたのです。

また、診察行為の内容、職員の時刻別稼働率、地区における患者さまの好感度の数値化などを成し遂げ、これらが月報という形で管理評価されていました。

当時、病院経営管理システムとしては、圧倒的に他を凌駕し、卓越した内容に満ちていたと自負しています。

これは、川崎製鉄でQC（品質管理）活動や技術開発に携わったこと、実験企画やレポート作成などで上司や同僚に鍛えられた経験が生きた、その結果にすぎません。川鉄での奮闘が、知らず知らずのうちに経営者としての資質を錬成していたのかもしれない。

このようにして、医療法人徳友会は、年間延べ人数70万人を診る医療組織に発展していきました。当時、単体の整形外科組織としての来患者数は、おそらく日本一だと考えていました。

それでも私は経営に専念しつつ、日々の診療を鋭く観察することや、業務を改善し向上する意欲に満ちていました。

日々、多くの患者さまの疾病や、骨折などを含む外傷を観察していて、結論として導かれたことは、多くの場合、治療する過程の中で最も大事なものは、「体温を上げ、血流量を増やす」ということでした。

例えば骨折などの外傷も、治療の過程で血流量を増やすと、骨折部における石灰沈着や癒合が速やかに起きていくこと。また、メスを入れずに徒手整復して、ギプスなどで固定し治療に導く無血整復のほうが、治療期間も短く有利であることがわかっていました。

あるいは、骨折した部位に早いうちに心地良い温熱刺激や超音波、周囲の組織へ心地良いマッサージ等を施術すると、整形外科関係の解説書や教科書に示してある治療期間よりも大幅に短縮することも明らかになっていました。

常に患者さまの立場から俯瞰する私たちの診療姿勢は、地域の人々から高い評価をいただくこととなりました。それは、医師を含む全職員が、明るく優しく丁寧に患者さまに接し、心を込めて患者さまの体や患部に熱刺激やマッサージなどの手技を施し、体温を上げ、血流量を増やす治療を徹底することによるものでした。

私たちが開発した「ストレスフリー療法」の原点は、ここに見いだされていたものなのだと、つくづく思います。

その後、整形外科のチェーン展開で成功を治め、了徳寺学園や大学設立が成し遂げられたのは周知の通りです。

さらに、世界一速い馬をつくると公言して、北海道 門別に100ヘクタールにも及ぶ広大な牧場も作り上げられています。

そして皆さまご承知のように、昨年の東京オリンピックにおいて柔道100kg級で世界の強豪相手に当大学職員のウルフアロンが見事、金メダルを獲得致しました。

新入学生の皆さまにお伝えしたいことは、青春時代の夢は具現化することです。これは、私の体験からも言えると思います。了徳寺大学での4年間で心身を鍛錬され、また広く学びを深められ、壮大な夢を作り上げられますことを祈念します。

皆さんへのアドバイス

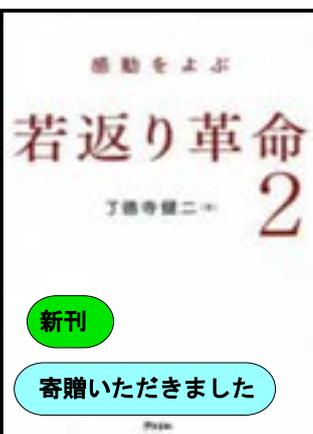
壮大な夢を作れ！



了徳寺 健二先生の著書ご紹介 ～本学に所蔵があります～

多くの著作を持つ先生ですが、昨年9月に出版された『常識がくつがえる 若返り革命』に続き、4月末には『感動をよぶ 若返り革命 2』を上梓（じょうし）されました。

「教員執筆図書コーナー」に配架しています。

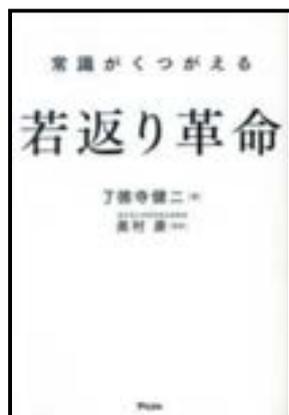


理事長・学長 了徳寺健二先生著
『感動をよぶ 若返り革命 2』

世界初の研究結果ほか、「ストレスフリー療法」の最新情報を、わかりやすくまとめています。特に、「ストレスフリー療法」でなぜ若返るのかの問いに対し、人体が若返る9個の条件を示し、「ストレスフリーMMTS」と名付け、説明します。最終章では、患者様の体験談とおし、治療事例を紹介いたします。

(2022年4月発刊)
請求記号：492.5||Ry

他にも多くの著作があります。その中から、関連する書籍を何冊か以下に紹介します。



「人間の老化と病気は、ストレスによる血流低下と成長ホルモン分泌低下によって起こる」という仮説の下、健二先生が本学の先生方と共に、10年以上に及ぶ研究と臨床事例から発明した「ストレスフリー療法」。

最新研究からわかった新事実が、この療法が「若返り革命」を成し遂げるものであることも説明します。

(2021年9月発刊)
請求記号：492.5||Ry



これまでの研究成果を、身近な健康法として紹介した図書。自宅で簡単に実践できる健康法として、「12のツボ」を、図と文章で説明します。また、本学で実施している「ストレスフリー療法」の事例を、改善された症例とともに紹介しています。

「12のツボ」のを見つけ方とお勧めの指圧方法も紹介します。

(2018年3月発刊)
請求記号：492.5||Ry



「長生き」と呼ばれる人々の傾向を調査した結果と、先生が発見した「長生きのスイッチ」を紹介した図書。

「長生きのスイッチ」には、「7つのスイッチ」と「2つのツボ」があるとのこと。これらの効果と見つけ方を、図や文書で、丁寧に説明します。

(2014年6月発刊)
請求記号：493.49||Ry



了徳寺大学の先生方が開発した「ストレスフリー療法」の開発秘話を中心に、この療法が、白内障や認知症、うつ病などの現代病の治療だけでなく、記憶力の向上などにも効果があることを解説します。

治癒事例の他に、戦国武将とストレスとの関連性の考察や、綾小路きみまろさんとの話も織り込まれています。

(2013年9月発刊)
請求記号：493.49||R

新入生を迎えて

健康科学部長・医学教育センター長
檀 和夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。と言われても5月の末である現在ではそのおめでたい気分も消え、それどころか既に始まった医療系の勉強のタフさ加減に驚いたり、焦ったり、落ち込んだりというところかもしれないですね。

そうなのです、最初のガイダンスの時にも言いましたが、医療系大学は普通の大学（いわゆる文化系や理科系大学）と違って4年間に学ばなければならない知識・技能が大変多く必然的に選択科目が少なく必修科目だらけになってしまいます。そこで普通の大学の学生だと「青春を謳歌（おうか）する」とばかりに残念ながら勉強よりも遊びや部活やバイトに明け暮れるという学生が多くなるわけですが、医療系大学はそういう訳にはいきません。でもそれは、医療人（理学療法士、看護師、柔道整復師・トレーナー）にどうしてもなりたいとあなた達自身が望んだ覚悟の上なのですから、誰のせいにもできません。

この医療系大学の勉強のきつさは考えてみれば当然です。

医療人は、対象が病に罹（か）り辛く苦しんでいる患者さんであり、その病の苦痛を軽くし、あるいは命を救うのが仕事です。この患者さんという他人の身体を触り命を預かるのですから、生半可な知識でいいはずがありません。そのかわりに患者さんの病気が良くなり、あるいは命が助かり元の生活に戻れた時の患者さんの嬉しさ、幸福感は容易に想像できます。そしてこれを達成できた時の患者さんからの感謝と医療人のやりがいは、他のどの仕事にも勝ると私は思います。

この生きがいを感じられる医療人になれるかどうかは、あなた達のこれからの4年間の勉強にかかっているわけです。もしも、元々そんなに勉強するつもりで入学したつもりではない、勉強は嫌いだという学生がいたら授業料を4年間親に払わせる前に、今のうちに進路を考え直した方が良いと思います。

あなたの夢が広がる医療人を目指して頑張ってください。

皆さんへのアドバイス

本を読む、たくさん読む



さて、私はあなた達に、授業開始日の第1限目から人間関係実践演習II（医療教養）という授業のレポートで、「今のあなたに目の前の初対面の患者さんと良い人間関係が築けると思うか」という問をぶつけました。もちろんほとんどすべての学生が「出来ない」と答えていました。その通りだと思います。授業でも言いましたが、医療人には患者さんとよくコミュニケーションをとり、良好な人間関係を築く力が要求されます。そのためには多くの能力が必要とされますが、例えばコミュニケーション能力、患者さんの気持ち、想い、生活状況、経済状況等に思いを馳（は）せることができる能力等が必須です。

この前者のコミュニケーション能力を高めるためには、教養、知性、人間性、人間力、幅広い趣味、日本や世界の社会情勢の知識（例えば新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略の非道性・非人道性）等の総合力が必要になります。

こんなのは無理と思うかも知れませんが、最も良い方法は本を読むことです、本をたくさん読むことです（公正な報道をされている新聞もです。決してデマや誹謗中傷が数多く含まれているSNSではありません）。

読書はきちんとした文章を書くために必要な漢字力、単語力、言い回しなどの言語能力を身につけてくれますし、また前述の患者さんの気持ち、想い、生活状況、経済状況等に思いを馳せることができる能力としての「想像力」、これを培ってくれます。

4年間の専門的勉強とともに良い医療人になるための人間力を養ってください。その努力の先にはあなたの希望のある人生が待ち構えています。

そのことを何よりも願っています。

図書館では新入生向けに「医療人としての心構えを作る」のテーマ展示をしています（以下選書リスト）。興味がある方は借りて読んでみてください。

「心を磨く」に効く本 集めました！！ 

書名	出版社
1 福嶋和夫と中村天風	プレジデント社
2 ころ上手に生きる	講談社
3 働かない。	幻冬舎
4 仕事が入ってくる	岩波書店
5 そのままの今を好きになる	世界文化社
6 がんばらないけどあきらめない	集英社
7 病院で死ぬということ	文芸春秋
8 はやくはやくっていわないで	ミシマ社
9 あさになったのでまどをあけますよ	創成社
10 100万回生きたねこ	講談社
11 心をひろく25のヒント	文芸春秋
12 医学するころ	岩波書店
13 これからのナースに実践してほしいこと	中山書店
14 いのちのおはなし	講談社
15 内臓とこころ	河出書房新社

※新書は入荷前です。

「基本を学ぶ」に効く本 集めました！！ 

書名	出版社
1 からだをまもる免疫のふしぎ	学芸社
2 看護とはどんな仕事か	勉学堂
3 人間学入門	南山堂
4 忘れてしまった高校の生物を復習する本	エデュエータ
5 休み時間の生化学	講談社
6 解剖生理をおもしろく学ぶ	サイオ出版
7 大学1年生のなっとく！生物学	講談社
8 介護福祉士になるには	ベリかん社
9 看護科になるには	ベリかん社
10 やりがいのある仕事！看護実践	現代書林
11 作業療法士になるには	ベリかん社
12 理学療法士になるには	ベリかん社
13 面白くて眠れなくなる人体	メディアスターズグループ
14 からだの免疫キャラクター図鑑	日本図書センター
15 面白くて眠れなくなる生物学	メディアスターズグループ
16 看護実践の一日	保育社
17 理学療法士の一日	保育社
18 看護科の一日	保育社
19 マンガでわかる免疫学	オーム社
20 はたらく細胞	講談社
21 こんにちは、保健師です	文芸社
22 のびん解剖生理学	永岡書店
23 はたらく細胞ILLU	講談社
24 はたらく細胞	講談社

※新書は入荷前です。

新任のご挨拶

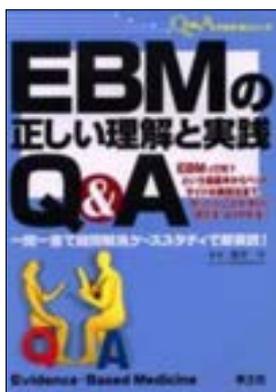
附属図書館長
石丸 圭荘

2022年4月より図書館長に着任いたしました。若輩ですがよろしくお願いたします。

大学は教育機関だけではなく研究機関としての役割があり、最新の「研究」により解明されたエビデンスを「教育」にフィードバックする使命があります。特に、医療系大学では研究によるEvidence Based Medicine: EBM (根拠に基づく医療) を背景とする「教育」と「研究」をはじめ、「臨床」の現場では、EBMによる診療指針(診療ガイドライン)がテキスト書として活用されています。

大学附属図書館においても「教育」と「研究」さらに「臨床」を支援する機能を担っています。具体的には、学術論文やレポート作成には、EBMに裏付けられた著書、論文や情報が不可欠です。また、それらはデータベース化され、メディカルオンラインなどで必要な情報を効果的に検索し分析評価して、論文やレポート作成に活用することができます。一方で、インターネットの普及により不確かな情報が増え、個人で容易に情報発信できるようになった近年では、誤った情報も少なくありません。このためEBM「研究」を基にした情報リテラシー「教育」による論文やレポート作成が必要です。

「EBM入門書」 ～本学に所蔵があります～



『EBMの正しい理解と実践Q&A』
請求記号：492||No

「EBM (Evidence Based Medicine) って何？」
そんな疑問を持った方へ。

EBMの本質や基本事項を、Q&A形式で解説した入門書です。最初にEBMの用語と概念をQ&Aで整理し、次にケーススタディ(事例紹介)で実践方法を学びます。

図書館は、本を静かに読む場だけではなく、メディカルオンラインなどデータベースを活用した論文、レポートや発表資料の作成といった支援機能が求められます。そこで、これを支える情報リテラシー「教育」支援の体制も強化したいと思います。

文献や情報の検索を使いこなすために、活用法を提供するのも情報リテラシー「教育」のひとつです。図書館HPではデータベース検索など活用法を詳細に解説していますので有効に活用していただきたいと思います。

大学における研究・教育（学習）は、アクティブラーニングに象徴されるように、さらに多様化・高度化することが予想されます。図書館もこれに対応するため、研究教育機関の附属機能として役割を果たしていきたいと考えています。

著名な図書館学の父とも称されるランガナタン博士は「図書館は成長する有機体である」と提唱しています。本学図書館も「有機体」として機能していきたいと思います。

学生および教職員、地域皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

図書館学の五法則（ランガナタン博士提唱）

1. Books are for use.
本は利用するためのものである
2. Every Person His or Her Book.
いずれの人にもすべて、その人の本を
3. Every Book Its Reader.
いずれの本にもすべて、その読者を
4. Save the Time of the Reader.
読者の時間を節約せよ
5. A Library is a Growing Organism.
図書館は成長する有機体である

(参照：『図書館の歩む道 ランガナタン博士の五法則に学ぶ』竹内さとる解説)

ランガナタン博士とは？

シヤリ・ラマムリタ・ランガナタン (Shiyali Ramamrita Ranganathan) 1892年～1972年。
インドの数学者、かつ世界的な図書館学者。司書の経験を持つ。博士が提唱した「図書館学の五法則」は、近代図書館の理念を端的に表したものと評され、図書館学の父とも称される。

新入生の皆さんへ

教養部長
山田 利彦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！
それぞれの目標に向かって大きな夢と希望を胸に、日々学ばれているものと思います。

大学は殆どの学生にとって学びの最終段階の位置づけであり、その後社会に出た際には、構成員としての役割と義務を担うこととなります。その前のまとまった学びの場となるこの大学での4年間で、生涯の友と出会い、それぞれが望む分野での深い専門知識をしっかりと培ってほしいと思います。

私としては、この4年間で皆さんに期待したいことが2つあります。
まず1つ目は、多くの学びを通して自己の価値観を確立して欲しいということです。

現在はスマートフォン等を通して簡単に、世界中の情報が好むと好まざるとに関わらず押し寄せてきます。また、それぞれの情報も個人の閲覧傾向に基づいて情報の選別が行われています。ただ、そうした情報やニュースも全ては書き手のバイアスがかかっており、伝えたいと思う方向に導くための表現となっていることを理解してください。

このようにすべての情報に対して、常に他の側面、或いは真逆の側面からその情報を見てみる、確認するということが、この情報過多社会では大変重要であると考えます。そうして、それぞれの情報をしっかりと読み込み、自分の中での価値観や考え方を通して、その物事を判断できる価値基準を培ってほしいと思います。

私たち教員が教えることも全てが皆さんの価値基準と合致するとは限りません。時には多様な見方を通して真理を追究し、自身の仮説を検証すべく、教員との意見交換や問答を通して、しっかりとした自己の基準を練り上げて欲しいと思います。

価値観/価値基準を醸成する一冊としてお薦め>



『君たちはどう生きるか』
吉野源三郎著 (2017年発刊 マガジンハウス出版)
請求記号：159.7||Yo

「貧困、いじめ、勇気、学問…。今も昔も変わらないテーマに、人間としてどう向き合うべきか。」(以上、表紙裏ページから抜粋。)

折に触れ読み返したくなる本。漫画版と岩波文庫版も所蔵があります。

本学に所蔵があります

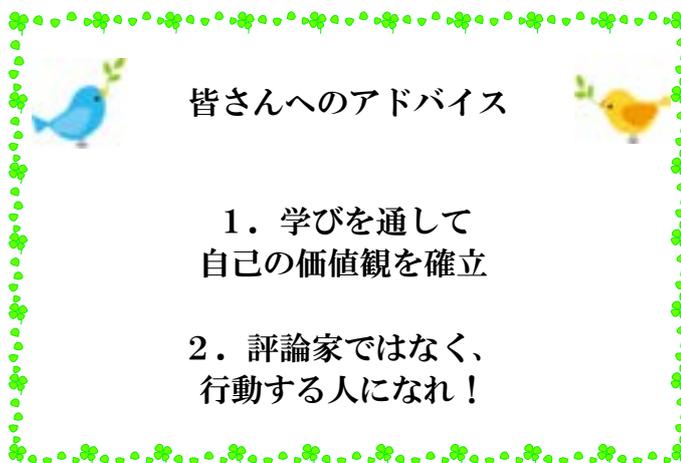
もう1つは、自分の思い通りにならないことなどに対して、ただ不平不満を並べる評論家にならないで欲しいということです。

テレビやタブロイド紙などで、深い考察や内容の理解もないまま、上辺だけの評論がなされていることが多々あります。しかしながら、皆さんには、そのような外に理由を求め、今の社会は政治家が良くないからといった逃げ口上に、走って欲しくないと思います。

もし現在の状況に不満があるのであれば、少しでも自分自身で何ができるかを考えて、行動に移して欲しいと思います。勿論簡単に改善されることは少ないかもしれませんが、もしそう思うのであれば、それを改善するために行動を起こせる人になって欲しいと思います。

そうした自己を確立するうえでも、自身が何か行動を起こすうえでも、大きな力になるのが読書だと思います。

この大学時代に、多くの良書に出会い、自身の考えの大きな柱を築いて行って欲しいと思います。



皆さんへのアドバイス

1. 学びを通して
自己の価値観を確立
2. 評論家ではなく、
行動する人になれ！

学ぶ、夢中になる、それが「セレンディピティ」を生む

理学療法学科長
盆子原 秀三

学ぶことはとても楽しいことです。いままで知らなかった新しい知見を得ること、それを技術として身に付けることは、自分が成長していくような、とてもワクワクした気分させます。その先には、医療人として人のためになる仕事をしたいという夢があります。

一つの学びが思わぬ発展に繋がる偶然を生み、まさに会うべき人に出会う。これをセレンディピティといいます。この言葉の起源は古く、18世紀のイギリスの小説家であるホレス・ウォルポールが生み出した造語です。セレンディピティは“セレンディップの3人の王子たち”という童話から生まれた言葉です。科学者の間でよく使われている言葉で、日本語に訳すのは難しいのですが、たまたま出合ったことから研究が大きく進んでいくというイメージです。思わぬ発展につながる偶然、その偶然が実は大事で、偶然に導かれて研究が発展するのです。

私が理学療法士養成学校の時代に、淡々と難解な用語が連呼される解剖学の授業中、「膝」に関する講義を受講しながら、小学生のころからサッカーをして「膝」のけがに悩まされたことをふと思い出しました。

ボールを強く蹴る、ジャンプをすることを可能にしている「膝」はどんな構造をしているのだろうか、と興味が湧いてきました。授業が終わって、何と無しに図書室に寄ってみると、多く専門書があることに感動を覚えました。教科書以外の先人たちが書いた本を手にとるとわくわくした感じになりました。そうしているうちに将来は僕も「膝」に特化した理学療法士になりたいという夢を持つようになりました。

卒業して奨学金返済のため地方の労災病院に3年間勤めました。日々、脳の障害や呼吸器系の障害の患者さんが多かったため、「膝」に特化したいという夢は、その時にはかないませんでした。しかし世界中にある「膝」に関する書籍を少しずつ読んでいくと、さらにもっと知りたいという欲求にかられていきました。そんな時、日本で初めて関節鏡で膝の手術をしている病院が理学療法士の求人をしているというのを聞き、直ぐに入職を決意しました。

まだネットがない情報不足の中での朗報でした。そこで偶然出会った世界でも著名な整形外科医師は「選手がフィールドに復帰するには手術が3割、7割はリハビリテーションによる」と言われ、その言葉に発奮し7年間、朝から晩まで膝関節手術の見学と術後のリハビリテーションを経験しました。

偉大な研究成果には至りませんでした。バレーボールのオリンピック選手やアメフト、ラグビー、プロレス、相撲などの多くのプロ選手の理学療法に携わるという夢は叶えられました。

これが、私にとってのセレンディピティですが、振り返るとまだまだ多くのセレンディピティが思い浮かべられます。

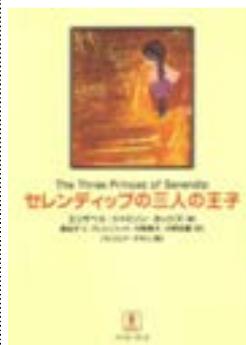
学生時代の一つの学びの継続が偶然を生み、その学びを通して偶然の人との出会い、さらにその先人達の生き方に触れることができました。当たり前のことですが、こうしたセレンディピティのチャンスが得られるのは、夢中になったからこそだと思います。

目先の定期試験や国家試験にのみとらわれていると、将来像をイメージすることは決してできません。大学生活で重要なのは試験期間中の勉強だけではありません。試験期間外でのいわゆる自由な時間に、自由に学ぶことを楽しむという感覚を持つことです。学生の面接をしていると、覚えることが多くて大変、自分には無理、苦痛しかありません、と夢をあきらめていく学生が増えているように感じます。学ぶことは確かに根気がいるので苦痛かもしれません、でもゴールに向かってボールを10回、100回と夢中になって蹴っていくうちに、前よりも少しずつ上達している自分を感じることができます。夢中になれるものが目の前にあるわけです。こんな幸せはありません。

学習方法に悩んでいる学生の一人が「こんな本があればもっと勉強ができるようになるのだけど」と私に教えてくれて完成した本が筋学ハンドブックです。教える側も教えながら学んでいるのです。

互いに教え学びあい、皆さんの将来のセレンディピティの一步としての教育の場となるよう支援したい。

以下は、盆子原先生にご紹介いただいた本です。機会があれば、是非、読んでみてください。



セレンディップの三人の王子
エリザベス・ジャミソン ホッジズ (著),
Elizabeth Jamison Hodges (原著)
バベルプレス, (2004/7)

盆子原先生にご紹介いただいたセレンディピティ（「一つの学びが思わぬ発展に繋がる偶然を生み、まさに会うべき人に出会う。」）の語源となった書籍です。本学に所蔵はありませんが、OPACから「カーリル」で検索しますと、船橋市立図書館に所蔵があります。「カーリル」で探すと、他に類似本もあるようです。お近くの公共図書館も活用してみてください。



筋学ハンドブック
飯島治之, 盆子原秀三著
医歯薬出版, (2014/6)
請求記号: 491.36||Ij

学習方法に悩んでいる学生の声から生まれた本。「筋肉の図が載っていてイメージしやすく、起始停止はもちろんMMT、臨床のことも書いてあり参考になる。」(Google Booksレビューから) 本学に所蔵があります。

人生は『THE FIRST TAKE』！？

整復医療・トレーナー学科長
大澤 裕行

若い学生諸君は、むろん、YouTubeチャンネル「THE FIRST TAKE」を知っていますよね！？

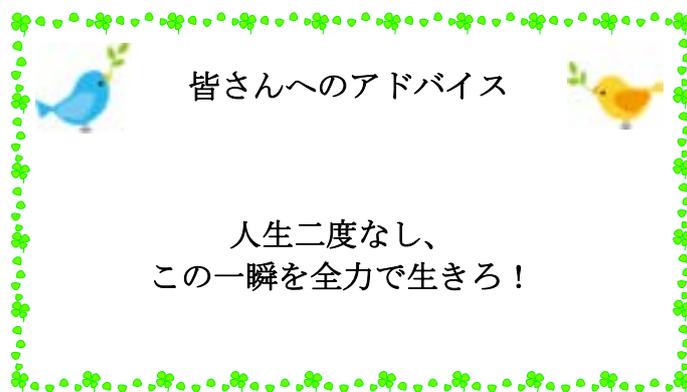
敢えて説明を加えますと、一発撮りに挑むアーティストたちのパフォーマンス番組で、まさにぶっつけ本番一回限りの、そして何の小細工も編集も無い「素」の歌唱力を問い、芸術性という観点からすれば、いわば自分という「個」の全てをさらけ出す番組です。つまり特別な最新機器等を駆使した編集加工など全く無く、歌手自分の声量と歌唱力、選択した歌曲にかける情熱と思入れ、さらには「歌」のメッセージを通して、歌い手自身の人生観までもがさらけ出されてしまう非情なコンテストで、プロとしての歌手職の登竜門番組となっている人気番組です。

何故、この番組をことさら取り上げたかと言いますと、私自身が生まれてから長い人生を過ごしてきて、ずっと感じてきた理念哲学と、この番組の提唱するテーマが一致したからです。

教育界随一の重鎮だった故森信三先生は、その多くの訓言の中で、「人生、二度なし」という言葉を特に力説しておられました。

山のようにある数多の御著書の中に、この「人生、二度なし」という金言哲学が貫かれ、まさに人生における絶対的事実、即ち真理として、教育者のみならず人間すべてに常に心して生きる様、全身全霊で語っておられます。

いろいろ異説はあるものの、宇宙誕生のBig Bang から150億年もの悠久の時間が流れ、その150億年を1日に例えると、人間だれしも100年生きたとしても、僅か0, 1秒の人生でしかないこととなります。良く賢人が、「その瞬間、瞬間を生きろ！」と言いますが、まさにその瞬間、瞬間の積み重ねこそが人生そのものなのです。



とかく若いときは、自らに起こるであろう災難もまた不幸も、全く無関心で他人事と捉え、また自分の寿命すら永遠に不滅のように漫然と構え錯覚しがちですが、長く思える人生も、実はその放たれた永遠の時間軸を、自分自身が一瞬で通り過ぎてゆく宿命を背負っています。

人間一人にできることは限られています。その一瞬の人生をいかに有意義に使うかが、生きる上で一番重要なことです。

幸いにも、了徳寺大学は医療人を育成する大学です。先ずは自らが幸せになるために、皆学業に励んでいるわけですが、「自他共栄」の訓通り、他者ひいては社会に貢献できる人材となるのが取り分け大切です。

日本人なら誰もが知っている武士道のバイブル『葉隠』に、「端的只今(たんできしこん)」という文言が出てきます。何時でも「死」を覚悟して生きねばならなかった武士社会、封建時代に「今、この一瞬、一瞬を精一杯生ききる」という哲学が、往時、人生を実りある有意義なものにしていました。同時に一日の始まりに、「日々、臨終と心得よ」と今日こそが人生の終わりの日だ!と認識して、繰り返される毎日の怠惰さに打ち勝つ努力を怠りませんでした。

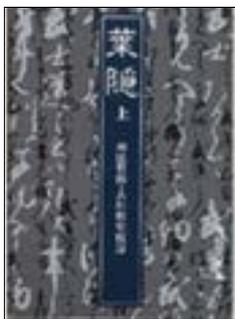
こんな風に、武士に代表される先人先達は、人生を大切に一生懸命生き抜いたようです。

タイトル、冒頭に、「人生は『THE FIRST TAKE』!？」と書きましたが、人生はやり直しの利かない、まさに一度きり、ぶっつけ本番の舞台、THE FIRST TAKE、一発勝負です。番組に出演するアーティスト同様、一瞬、一瞬を全力でひるむことなく果敢に挑戦して行くことこそ、私たち現代に生きる者に与えられた使命ではないでしょうか。

人間としてこうして世に生を得た以上、二度とない人生を「宿命に耐え、運命と戯れ、使命に生きる」ことこそ、我々に与えられた生き様であると念じて、日々を悔いなく生きようではありませんか。

もう一度、言います。「Life is The First Take !!!」これこそが真理です。

「武士道と云うは、死ぬ事と見付けたり」、この有名な言葉で始まる大澤先生ご紹介の『葉隠』は、本学に所蔵があります。また、『葉隠』の内容を、わかりやすく解説した『葉隠 武士と「奉公」』も用意があります。興味のある方、是非 読破チャレンジしてみてください。



『葉隠 上』, 『葉隠 中』,
『葉隠 下』
和辻哲郎、古川哲史 校訂
岩波書店発行
(2004年10月刷)

山本常朝(じょうちょう)語り、田代陣基(つらもと)編集の『葉隠』を、和辻氏・古川氏が、上、中、下の三分冊で紹介します。

請求記号：156|Ya|1~3



『葉隠 武士と「奉公」』
小池喜明著
講談社発行
(2009年12月刷)

江戸時代に編集された『葉隠』を、武士と奉公人の観点から、わかりやすく解説します。ルビ付き。

請求記号：156|Ko

本学に所蔵があります

「初志貫徹」の精神を持つ

看護学科長
佐藤 みつ子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。教職員一同、在校生一同、心より歓迎しております。

さて、わが国は、他の国に類をみないスピードで少子高齢化が進んでおり、病気や障害を抱えながら生活する高齢者が増加し、それに伴って、医療は、「病気を治す医療」から「治し支える医療」へと変化しております。また、誰も予測しなかった未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで以上に、医療や看護に寄せる期待が高まっており、病院や施設に留まらず、在宅療養を含む地域の人々の健康と生活を守り支える等、看護活動の場が拡がり、看護職の役割や責任が重くなっています。さらに、科学の進歩により医療技術の高度化、ICTの発展により、看護の人員確保だけでなく、質的にも高度な専門性と豊かな人間性が求められています。

このような看護を取り巻く社会の動向を踏まえて、看護学科は、本学の「医療と芸術の融合」を基本理念とし、芸術を通して、感性、創造性、豊かな人間性を育み、変化する地域社会・医療・福祉に貢献できる人材および医療・看護の専門知識、技術を修得し、専門職業人としての役割と責務を果たし、将来、指導者となる人材の育成をめざしています。そのため、1年次は、芸術科目等の教養科目の授業を通して、広い視野から物事を考えられる教養や豊かな感性・人間性を身につけ、2年次は、看護の基礎となる医学知識や保健医療福祉について学び、3年前期は、小児から高齢者まで対象者の特徴を踏まえた看護を学ぶ、3年後期は、専門看護学の領域別実習、4年次は、自分の看護に対する考えをまとめる「看護研究」、看護を総括する「統合実習」、「卒業試験」や「国家試験」に向けての学修ができるように授業を組み立てています。

そこで、皆様が、これから大学生活を送るにあたって心がけてほしいことを申し上げたいと思います。

I. 「初志貫徹」の精神を持つ

初志貫徹の精神とは、初めに心に決めた志を最後まで貫き通すことです。

「了徳寺大学で学びたい」、「看護師・保健師・養護教諭になりたい」等の志、夢、願いを最後まで貫き通してほしいのです。

学生さんの中には、入学したことで自分の夢が叶ったかのように思い、志が揺らいでしまう人もいます。4年間の学業・日常生活においては、時には志が揺らぐこともあるかと思いますが、その時は、初心を思い出し自分の夢や願いを実現してほしいと思っています。

Ⅱ. 初心を貫くための「気力」「知力」「体力」

「気力」とは、困難にくじけることなく物事を貫徹する強い精神力、成し遂げようとする力です。学業においては、これまで耳にしたこともない専門用語が多く、看護の難しさに直面し学業に不安を抱いたり、生活面では、初めての一人暮らしに慣れない等、さまざまな困難に遭遇することもあるでしょう。でも、苦しみだけではなく、興味深い授業、学友との語り合い、サークル活動、大学祭等、楽しさや嬉しさもあります。

「知力」とは、物事を理解する力、経験から学び得ること、洞察を働かせる能力のことです。本日、皆様は、看護専門職人になるための出発点に立ちました。

看護は、人々の生命を守り、人権を尊重し、その人らしい生活ができるよう支援することです。知力を獲得するために、看護の基礎となる医学知識、保健医療福祉に関する知識および看護の専門知識を修得すること、患者さんのちょっとした変化に気づける観察力・洞察力、感性を磨くことです。また、患者さんに最良の看護を提供するには、健康状態を判断する力、確実な技術力、患者さんの心を理解する力が求められています。また、これからの4年間で実習する施設では、様々な他の専門職者と出会うことになるでしょう。他職種との連携・協働するために、コミュニケーション能力も身につけて欲しいと思います。また、実習においては、小児から高齢者まで幅広い年齢層の人、あらゆる健康状態の人の看護を実践するには、学んだ看護の専門的な知識や技術を駆使し、創造力や看護実践力を身につけることも大切です。

本来、学修とは、人から言われてするものではなく、自ら学ぶ、貪欲に学び取ることです。受身的な学習態度ではなく、探求心を持って、自主的、積極的に授業に取り組み、看護の奥深さに気づき、感じてほしいと思っています。

「体力」ですが、学業・生活の基盤は、「健康である」ことです。健康であれば、学業に集中できる、学業を継続できるのです。本学では、皆様に、自分の健康状態を知るための「健康自己管理ファイル」を配布します。看護師は健康管理の専門家ですから、そのことを十分に意識して自己の健康管理をしてほしいと思います。

これまで申し上げた「気力」・「知力」・「体力」をバランスよく身につけ、それぞれが抱かれた初志を忘れず貫き通してほしいですし、看護専門職業人としてはもちろんのこと、人間としての優しさと思いやりの心を持ち、時代の要請に応える自立した看護職をめざし一生懸命、学修されることを期待しています。

大学生活、日常生活に慣れるまで大変なことと思いますが、東京湾の見える素晴らしい環境で学友と交流しながら、了徳寺大学に入学したことにプライドを持ち、有意義な大学生活を送られることを願っています。



皆さんへのアドバイス



1. 「初志貫徹」の精神を持つ
2. 初心を貫くための「気力」「知力」「体力」を磨く



新 着 図 書 & N E W S

教員執筆図書のご紹介 ～本学に所蔵があります～

新着図書を中心に本学所属の先生方が執筆された資料を紹介します。「教員執筆図書コーナー」に配架しています。



健康科学部 整復・医療トレーナー学科
上岡尚代先生 野田哲由先生 田辺達磨先生 編集
『健康運動指導士試験 要点整理と実践問題 第3版』

試験問題を解きながら、学ぶべき要点の整理と確認ができます。
請求記号：780.19||Ka



健康科学部 整復・医療トレーナー学科
越田専太郎先生 執筆
『フルカラーでやさしくわかる！テープニングの基本』

豊富な写真で「テープニング」をわかりやすく解説します。
請求記号：780.19||0u

「試験対策コーナー」にも配架しています

寄贈いただきました

新刊



健康科学部 看護学科
石塚睦子先生、山内麻江先生 著
『よくわかる看護職の倫理綱領 第3版』

わかりやすい解説と豊富な事例で、理解が深まります。
請求記号：492.9||Mi



教養部 唐澤至朗先生 著
『絵本 上毛かるた』

群馬県を代表する「上毛かるた」の内容を、かわいい絵とストーリーで紹介します。唐澤先生は、2021年度上毛芸術文化賞を受賞されました。
請求記号：291||Ka

寄贈いただきました

寄贈いただきました



了徳寺大学職員
ウルフアロン選手 協力
『ワールド柔道—世界で勝つための極意書』

多くの名選手を育てられた竹内徹先生の著書。ウルフ選手は、技の極意の紹介で協力しています。
請求記号：789.2||Ta



教養部 佐久間浩美先生 執筆
『保健の科学 5月号』

論題「コロナ後の児童生徒のwell-beingを考える—看護実習における大学生の気づき—」を執筆されました。

最新号

寄贈いただきました

「和雑誌(看護)」コーナーに配架しています

「新入生歓迎！」～展示コーナー 設置しました～

主に新入生向けに、「医療人としての心構えを学ぶ」をテーマに「新入生歓迎！」展示コーナーを設置しました。図書館の蔵書の中から「心を磨く」に効く本15冊と「基本を学ぶ」に効く本24冊、合計39冊とDVD2巻を選び、展示しています。

また、町田志樹先生に監修いただき、「解剖生理学を学ぶ」ための本も25冊展示しています。

本学関係者の方ならどなたでも借りられます。興味のある方、是非のぞいてみてください。



新 着 図 書 & N E W S

「知ってた？ 図書館」 ～図書館に本をリクエストするには～

「自分の読みたい本が図書館にない。」「あの本良いから図書館に入れたい。」……そんなとき、図書館に本をリクエストすることができます。

自分のため、仲間のため、そして未来の後輩のために、あなたのリクエストをお寄せください。

図書館に本のリクエストをするときは、次のステップでお申込みください。

Step. 『リクエスト申込書』の必要事項（太枠内）を、わかる範囲で記入し、図書館カウンターへ提出ください。

『リクエスト申込書』用紙は、図書館に用意しています。

- ※1 既に図書館に所蔵がある本は、原則、リクエストをお受けできません。
- ※2 リクエストは審議後、購入可否を決定します。
- ※3 予算や内容などの関係で、リクエストをお受けできない場合があります。
- ※4 審議の結果は、申込者に、ご連絡いたします。

「知ってた？ 図書館」 ～図書館の本を予約するには～

「自分が借りたい本を誰かが借りている。次は絶対借りたい。」……そんなとき、本の予約をすることができます。本の予約をするときは、次のステップでお申込みください。

Step. 『予約申込書』の必要事項（=内）を記入し、図書館カウンターへ提出ください。

『予約申込書』は、図書館に用意しています。

- ※予約した本の用意が整いましたら、図書館から申込者の方に、ご連絡いたします。
- ※予約した本の置き期間は、7開館日です（休館日を除く）。連絡がありましたら、早めにお受け取りください。

「知ってた？ 図書館」 ～図書館に要望を出すには～

「図書館でグループ討議をしたい。」「本のリクエスト以外の要望はどうすればいいの？」など……、図書館へ、意見や要望を出すことが可能です。全てのご意見・ご要望にお応えできるわけではありませんが、出してみなければ始まらない。

図書館へのご意見やご要望をお持ちの方は、以下のステップで承ります。

Step. 『図書館へのご意見・ご要望 記入用紙』の必要事項（太枠内）を記入し、図書館カウンターへ提出ください。

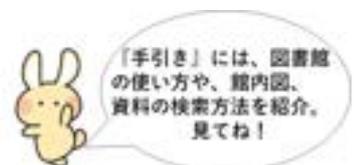
『図書館へのご意見・ご要望 記入用紙』は、図書館に用意しています。

※ご意見・ご要望への個別回答はいたしません。今後の図書館運営の参考にさせていただきます。あなたの声で、図書館が変わるかも……。

「知ってた？ 図書館」 ～『図書館の手引き』をリニューアルしました～

『図書館の手引き』をリニューアルしました！

新しい『図書館の手引き』は、図書館のホームページの「お知らせ」から、若しくは右のQRコードからアクセスできます。



図書館と著作権

レポート作成や課題に取り組むため、図書館にある資料をコピー（複写）したり、資料の一部を引用することがあるかと思いますが、ここでは、そのようなときに注意すべき「著作権」について紹介します。

1. 著作権とは

「著作権」とは、知的財産権のうちの一つで、知的な創造活動によって著作物（小説や論文、音楽、写真、映画など）を創り出した人に対して付与される「他人に無断で使用されない権利」のことです。「著作権」は著作物を創作した時点で自動的に付与されます。

「著作権」は著作権法という法律で保護されています。著作権法は、「著作権」の保護の他、文化の発展を目的とした法律でもあります。このため、著作物の公正で円滑な利用が妨げられることで文化の発展を阻害しないように、「著作権」を制限する一定の「例外」が設けられています。

「著作権」の「例外」については、[文化庁のホームページ](#)（『著作物が自由に使える場合』）に記載があります（右QRコードからアクセス可）。この中から、学生の皆さんに特に関係が深いと思われる「例外」について、表1にまとめます。

表1. 「著作権」の「例外」の一例

図書館等に上回る複製 (第31条)	①国立国会図書館と政令(第1条の3)で定められた図書館に限り、一定の条件(注4)の下に、7)利用者に提供するための複製、7)保存のための複製、7)他の図書館への提供のための複製を行うことができる。 利用者に提供するために複製する場合には、翻訳して提供することもできる。 ②国立国会図書館においては、所蔵資料の原本の滅失等を避けるため(=納本後或は)電子化(複製)することができる。
引用 (第32条)	①公正な慣行に合致すること、引用の目的上、正当な範囲内で行われることを条件とし、自分の著作物に他人の著作物を引用して利用することができる。同様の目的であれば、翻訳もできる。(注5)②新聞等の刊行物のための複製した資料等は、説明の材料として新聞、雑誌等に転載することができる。ただし、転載を禁ずる旨の表示がなされている場合はこの例外規定は適用されない。

出典：文化庁ホームページ「著作物が自由に使える場合」から抜粋



〈注4〉図書館等が複製サービスをする際の注意事項

- (1)複製行為の主体が図書館等であること。
- (2)複製行為が営利を目的とした事業でないこと。
- (3)図書館等が所蔵している資料を用いて複製すること。
- (4)コピーサービスの場合には、利用者の求めに応じ、利用者の調査研究の目的のために、公表された著作物の一部分
(発行後相当期間を経過し、通常の販売経路による入手が困難となった定期刊行物に再転された一つの著作物についてはその全部を可及的に一括して提供するための複製であること。
- (5)所蔵資料の保存のための複製の場合には、活版の無い資料等の複製に限ること
- (6)他の図書館への提供のための複製の場合には、絶版等一般に入手することが困難である資料の複製を求められたものであること

〈注5〉引用における注意事項

- 他人の著作物と自分の著作物の中に取り込む場合、すなわち引用を行う場合、一般的には、以下の事項に注意しなければなりません。
- (1)他人の著作物を引用する必然性があること。
 - (2)かき基礎をつけるなど、自分の著作物と引用部分が区別されていること。
 - (3)自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること(自分の著作物が主体)。
 - (4)出所の明示がなされていること。(第40条)
- (参照：裁判昭和55年3月20日「パロディ」事件)

2. 図書館で図書や雑誌を複写できる範囲

図書館での複写は表1で示した著作権法第31条に基づき実施されます。

定めにより、一般的な図書は、著作権者の許諾がない限り「著作物の一部」

しか複写できません。本学では国立国会図書館の例を参考に、以下の様に複写範囲を決めています。

・著作物の半分まで

定期刊行物（雑誌や新聞など）に掲載された個々の論文や記事については、「発行後相当期間を経過」していれば、その全部を複写することができます。「発行後相当期間」は、国立国会図書館の例を参考に、以下の様に決めています。

・週刊誌/月刊誌 → 1週間後/1カ月後

・季刊・年刊の雑誌など → 3カ月程度経過後

3. 資料の一部を引用するとき

本や雑誌等の内容や事例から、自分の考えをまとめ記述することを「参考」、自分の文章にそのまま記述することを「引用」といいます。「参考」では、自分の言葉で表現することが必要です。一方「引用」は、「引用」部分がはっきりと分かるように区別し、出典を明記する必要があります。

表1で示した著作権法第32条には「引用」の条件が定められており、これを満たす場合は、著作権者の承諾なしに内容の一部を「引用する」ことができます。

引用した文献や参考にした文献の出典・出所の記述方法は、研究分野によって様々です。このため、自分の関係する研究分野の学会誌に掲載されている投稿規程の記載例や、本学の紀要の執筆要領の記載例を参考に、または先生に確認する等で、レポートや課題等の引用文献や参考文献の出典・出所を記述してください。

著作権法は、社会のデジタル化や他の法令等の兼ねいから毎年の様に改定されています。図書館の資料を利用する際、不明な事がある場合は、図書館カウンターまでお尋ねください。

編集後記

新入生・在校生の皆様、入学・進級おめでとうございます。今回の特集は「新入生を迎えて」です。

新入生は新しい環境で不安と期待で胸がいっぱい、在校生は新入生を迎え、初心を思い出すと共に、上級生としての誇りをかみしめているのではないかと思います。どうぞ様々な機会や場を活用し、充実した大学生活をお過ごしください。

また、その際、図書館がお役に立てることがあれば、遠慮なくお声がけください。

最後になりましたが、お忙しい中、原稿をお寄せいただいた先生方、ありがとうございました。（図書館員 日高明美）

